

## 令和5年度 今市まちづくりセンターの主な取組

事業名

### みんなあつまれ！あさひっ子☆わくわく夏休みpart2

P

#### ●事業実施に至った背景、目的

令和4年度中学生のアンケートから「事業企画から参加したい」の声を受け、今年度はワークショップを行い、中学生が企画したことを地域が応援し事業化した。また、児童クラブ以外の小学生にも参加を呼びかけた。この場所が移設される前に、たくさんの思い出作りの場になって欲しいと児童クラブの声があった。

- ・児童クラブ等と地域（高齢者クラブ）、中学生との繋がりのかけ橋（交流の場作り）
- ・高齢者クラブの活躍（生きがい）の場作り
- ・2回目で異世代との関係性が深まる（お互い顔見知りの繋がりができる）
- ・子どもたちから参加者とコミュニケーションをとる積極的な姿がみられる
- ・児童クラブの建物解体があり、この場所での開催が最後になるため、みんなの記憶に残る時間にする

#### ●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・児童クラブと協働で事業実施 ・中学生とワークショップ 5/29 （やりたいこと、やってみたいこと）
- ・打合せ（児童クラブ・高齢者クラブ・まちセン） 6/13 7/31 2回（具体的な事業化へ向けて）
- ・中学生レクリエーション事前準備 8/1 ・中学生当日役割分担打合せ 8/4

D

#### ●事業の概要

■事業実施日：令和5年8月8日（火）10：00～14：00

■実施場所：今市放課後児童クラブ

■事業内容：中学生のアイスブレイク（貨物列車シュッシュュ）

「夏祭り風屋台」（スーパーボール、プラお魚すくい／射的／輪投げ／ストラックアウト）

「食事」（そうめん流し／すいか割り／フランクフルト／シャカシャカおむすび）

■参加者 児童クラブ支援員 7名 児童 41名  
児童クラブ以外の小学生 10名  
中学生 9名 高齢者クラブ 19名  
今市まちづくりセンター 3名

C

#### ●事業実施後の振り返り

- ・中学生が企画段階から参加し、準備や当日の運営に関わったが当日欠席があり残念だった。
- ・地域の方との交流の中で、子どもたちはいろいろなことを学び経験する機会（思い出作り）となった。
- ・地区の違う高齢者クラブの参加者同士の交流や協力ができた。
- ・役割についての中学生や高齢者クラブがゲーム等に参加できなかった。

A

#### ●令和6年度以降の方向性

- ・役割についての中学生や高齢者クラブの方も参加できる工夫を考える。
- ・旭（今市地区）の地域資源や課題解決に繋がる内容を考える。
- ・場所が狭くなるが、子どもと地域が出来る事の役割分担を持って事業参加ができる内容とする。
- ・中学生時に企画参画を繋げるために小学校高学年の児童も参画できる繋がり作りをする。



中学生とのワークショップの様子



中学生の事前準備



8/8 当日の様子



笑顔あふれる  
事業でした♪

楽しみにしていた  
そうめん流し♪  
高齢者クラブさんの  
手作りです!!